

## スマートファイル発明に関する先行技術調査報告書

---

調査日: 2025年6月15日

調査対象: 日本国内特許・実用新案文献

データベース: 発明通信社 Hypati2

検索式:

(L\_FI=(B42F7/00+B42F9/00+B42F11/00+B42F13/00+B42F15/00+B42F17/00+B42F19/00+B42F21/00))

\*

(L\_TXT=(QRコード+二次元コード+RFID+NFC+電子タグ+ICタグ+色タグ+識別情報))

\*

(L\_TXT=(紐付け+管理+PDF+位置特定))

\*

(L\_TXT=(キャビネット+棚))

ヒット件数: 48件

調査手法: 人間による発明の名称および代表図面を目視確認し、関連性が高そうな文献を抽出後、ChatGPTを用いて内容を精査。

---

### 有力先行技術一覧

#### ① 特開平 09-212526(最も近い文献)

- **概要:** 書類ホルダーや書類自体に二次元コードを付与し、収納場所をコンピューターのデータベースで管理する。検索時はパソコン上で書誌的事項を入力し、収納位置を特定する。
- **共通点:** 電子的なデータベース管理による書類位置特定。
- **相違点:** 本発明ではQRコードや色タグを使い、視覚的に目視でも簡単に識別可能であるが、本技術では目視による直接識別機能がない。また、本発明ではファイルにスマホをかざすだけで中身の確認が可能であるが、本技術にはその機能がない。

## ② 特開 2004-351915

- **概要:** 収納空間内に収納した被収納物の検索を確実にを行うため、書類に IC チップを付与し、ファイル本体に IC チップの存在を検知する検知ユニットと通知手段(LED やブザー)を内蔵。検知ユニットはファイル背表紙に配置され、外部からの検索信号に応答し、該当書類を通知する。
- **相違点:** 専用の探知機(IC チップ検知ユニット)が必要であり、視覚的な色タグや QR コードなどの簡易な識別手段はない。また、中身をスマホで即座に確認する機能も有していない。

## ③ 特開 2005-033461

- **概要:** 書類、フォルダ、収納ボックスに IC タグを配置し、探知機で場所を特定。
- **相違点:** 専用の探知機が必要であり、目視による直接的な識別手段を有していない。また、中身の即時確認機能も備えていない。

## ④ 特開 2004-035190

- **概要:** ファイルフォルダに発光素子を内蔵した電子デバイスを取り付け、親機の指令で発光させ、位置を特定する。
- **相違点:** 電子回路・発光デバイスが必須であり、視認性を高める物理的なタグとは異なる。さらに、中身の即時確認が可能な構成ではない。

---

## 結論

現時点で最も近い先行技術は「特開平 09-212526」である。

本件発明との共通点は:

- 電子的なデータベースによる書類位置の管理
- 検索に際して PC 操作を必要とする点

主な相違点は:

- 私の発明は QR コードや色タグなど、視認性を高めた物理的なタグを備え、目視でも迅速にファイル位置を確認可能。

- 私の発明では、スマホでファイルの QR コードをかざすだけで、ファイルに収納された書類の内容を即座に確認できる。
- 特開平 09-212526 では、目視による簡単な探索や、中身の即時確認機能がない。

今後の出願に際しては、物理的な視認性タグ(色タグ、QRコード)を活用し、目視でも容易に識別可能であること、およびスマホで簡単に中身の確認が可能な点をクレームで強調し、特開平 09-212526 との差別化を図る必要がある。